

人生のラッシュアワーを支援するために

その他の
質問事項

- ▼ 六次総の指標「市民幸福度」について
- ▼ 生活線・市道の整備について

日本共産党
おざわ しょういち
小澤 彰一



◆若年向け住宅について

問 二十代〜四十代は人生のラッシュアワーといわれる。精神的、経済的負担を軽減するためにも空き家や使用されていない施設を活用して安価な住宅を提供できないか。

答 市では一般的な市営住宅のほかに、北小野地区に若者定住促進住宅を設置している。現在12戸すべて入居済みとなるなど一定の需要はあるものの、民間賃貸住宅との競合やコスト高といった課題がある。既存ストックを活用することを優先し研究していきたい。

(建築住宅課)

◆育児退園について

問 第2子を出産し6カ月後に育児を取得している、第1子が3歳未満で保育を受けている場合退園となる。見直しできないか。

答 保護者負担、児童への影響から要望を受けて

いる。保育の継続は、未満児保育を希望する保護者との兼ね合いもあり、現在検討を重ねている。

(こども課)

◆中山間地の移動手段

問 4月から櫛川診療所診察日が週二日になる。オンデマンドバスの導入は困難とのことだが、NPO法人の有償運送を充実させるためさらに補助はできないか。

答 あらゆる交通手段の組み合わせを図り、持続可能な地域の交通体系を構築したい。有償運送についても検討していきたい。

(都市計画課・長寿課)



ビレッジならかわの所有車

多様な要望課題に継続して取り組む行政運営



政進会
おの よし
小野 芳幸

◆信州F・POWERプロジェクトについて

問 征矢野建材の再生計画に係る債権者集会及び県市連絡会議の状況・経過を踏まえて、木質バイオマス発電用燃料材供給事業における市の今後の取り組みはどうか。

答 発電用燃料材の安定的な供給には、引き続き関係機関や事業者との情報共有や刷り合わせを密に図り、プロジェクト推進にどのようなスタンスで、どう支援をしていくのか慎重に見極め対応していく。

(副市長)

◆松くい虫対策について

問 被害の量・範囲ともに拡大傾向が続く、防除対策を講じ続けていくことが、財政的にも、人員的にも、徐々に困難になりつつあるが、市は今後どのように取り組むか。

答 適切な松くい虫対策区域設定に努めるとも

に、森林整備補助金や被害木の伐倒駆除補助制度などをフルに活用し、森林所有者や事業者等による自主的・自発的な被害防除を促進する。

(農林課)



山林に放置された伐倒燻蒸済の枯損木

◆鳥獣被害対策について

問 状況はどうか。

答 上小曽部区で、サルに装着したGPS発信機から得られる情報の活用を通じて、集落で協力して追い払い活動に取り組むなどの方向性が確認され、情報通信機器等の取扱い説明会の開催準備をしている。北小野地区では、対象個体の捕獲作業に取り組んでいる

(農林課)